

富士山に登ることが信仰 登山者の安全を見守り祈念する



【本殿】徳川家康は関ヶ原合戦の勝利を収め、天下泰平を祈念し本殿をはじめ30余棟を造営、境内一円を整備した。



【拝殿】近頃では外国からの観光客も多く訪れる。

あいにくの曇り空で富士山は見えませんが、近所の方や観光客が訪れていました。



【二之鳥居】

今回は富士山登山者の安全を願う富士山本宮浅間大社の宮司小西英麿さんにその歴史から将来へ向けたお話を伺いました。

まだ蒸し暑さが残る9月初旬。生憎の曇天で残念ながら富士山を望むことはできませんでしたが、降雨はなく富士山本宮浅間大社には地元の方々が散歩に訪れたり観光客の皆さんも参拝に訪れていました。この度は、富士山本宮浅間大社の宮司小西英麿さんにお話しをお伺いしました。

―まずは富士山本宮浅間大社の概要と歴史について教えてください。

小西英麿 宮司(以下、小西) はい。富士山の信仰となる富士山本宮浅間大社の主祭神は木花之佐久夜毘売命(このはなのさくやひめのみこと)別名：浅間大神(あさまのおおかみ)で、その歴史は紀元前27年(弥生時代後期)に遡ります。今から1900年前山宮浅間神社に遷し、1200年前(西暦806年)にこの地に遷されました。古くより武家からの崇敬が深く、大宮・村山登山道(富士宮ルート)の起点に位置することから登山を行う多くの方の崇敬を受けていました。

現在でも富士登山者の皆様が本宮に御参詣いただき富士山への登山を始めます。ここ富士宮市に本宮が、富士山山頂に奥宮と久須志神社(くすし)がございます。一般的に言われている8合目以上噴火口が御神体(清浄な場所)です。正に富士山が元来から信仰の山としての所以です。歴史上、朝廷や武家に篤く崇敬を受け、特に源頼朝、北条義時、武田信玄、勝頼親子、徳川家康が挙げられます。徳川家康は関ヶ原の合戦に勝利したのち、天下泰平の目的を遂行したことから、富士山本宮浅間大社の本殿・拝殿・楼門をはじめとして30余造営し、整備したことも記録に残っています。

―宮司様と富士山との関わりに

ついてお話を聞かせてください。

入社される以前から登山に親しまれてらっしゃったのですか？

小西 私は岐阜県出身なので。入社してから富士山との関わりが始まりました。

―えー。岐阜県出身だったのですか！(驚き)

小西 はい。当宮では、地元だけでなく広く知見を集めるといふ観点から、静岡県外出身者も多く勤務しています。富士山本宮浅間大社に勤める者は誰でも富士山は登りますし、私は奥宮に勤務したこともあります。初めの頃は高山病になって苦労しましたが、何度も富士登山を経験してだいぶ慣れましたね。この夏も8月15日に富士山に登りましたよ。まあ私は物資その他諸々を搬入するブルドーザーでの登山ですが(笑)。

―奥宮に勤務されていた時の楽しみは何でしたか。

小西 その頃はフィルムカメラに凝っていて、富士山の四季をよくカメラに収めていました。山頂付近から見える吉田の火祭りの様子は

本殿のここに葵の御紋と桐の御紋がある。



【本殿】



【浦玉池】市民の憩いの場にもなっている、神の宿る富士山から湧き出る清らかな水が印象的。

あります。

小西 世界文化遺産に指定される前が登山者のピークだったと思います。以前は協力金の時代もありましたが、今年から静岡県側、山梨県側とも通行料（入山料）の納付と事前学習が義務づけられました。

結果、マナーの良い登山者が増えたと感じます。富士山は国立公園なので、皆様には法令を遵守して安全な登山をしていただきたいと切に願います。

―海外からの登山者の様子についてはいかがでしょう。

小西 良い面もありますし、改善したい面もありますね。海外の登山者でもごみ袋を上手に身からぶら下げて、自分が出すごみを袋の中に入れてくれるマナーの良い方がいらついています。しかしごみを無意識に捨てたり、また寒いからだと思いがたき火を行う方も少なからずいます。

最初に言ったように富士山は信仰の山ですから、神様を祀る神聖な山という認識で富士山に登ってもらいたいと思います。以前、ドイツのテレビ局から取材を受けたことがあり、その時に「どうして山に登ることが、信仰になるのか？」と聞かれたことがあります。それは曼荼羅（まんだら）を見れば

わかりますが説明が難しかったです。

本来は体調を整えて夜登山して神秘的な御来光を拝む。そうした神聖な山なのです。富士山は登ること自体が信仰です。それは文化の違いかもしれませんが、外国でも海外から訪れた観光客が行く先々でマナーのない行為をしつら、いい気持ちではないでしょう。これは世界共通ではないでしょうか。富士山の文化的・信仰的側面が理解できればマナー違反は自然と少なくなるはずで。私たちは先人たちが築き上げた富士山の伝統と文化を大切に守っていくことと、観光となっている登山もそれは信仰の一部であるということを、神職を通して登山者の皆様に啓発をしていきたいと思います。

―若い世代に富士山の魅力や価値を伝える取組がありましたら教えてください。

小西 富士山を守るため、または富士宮本宮浅間大社の大切な活動として、氏子青年会がごいます。

これは当宮に御理解と御尽力をいただいている地元の方々とともにさまざまな活動を行うものです。また地元

こちらの楼門をくぐり、拝殿・本殿へと向かいます。



【楼門】

も富士山は大体登山者が20万人ぐらいとかなり人数が多く羨ましいと言われます。独立峰で美しい優美なフォルム

富士宮市の小学校、中学校の「富士山学習」にも協力しています。市内の児童、生徒さんたちに富士山に関する歴史と富士山が信仰の山であること、富士山本宮浅間大社の歴史、文化など、これまでお話ししてきたような内容をわかりやすく丁寧に学習してもらうように心掛けています。

―本日は長い時間、お話を伺いありがとうございました。

小西 こちらこそ、ありがとうございました。



小西 英磨 宮司

昭和56年 富士山本宮浅間大社へ入社。財務や労務管理、後継指名を受け、令和6年7月1日より宮司。休日には読書やDVD鑑賞を楽しむ